

---

○議長（土屋清武君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午前11時15分）

---

◎議案第22号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（土屋清武君） 日程第4、議案第22号 平成30年度松崎町水道事業会計予算についての件を議題といたします。

議案の朗読は省略して、提出者から提案理由の説明を求めます。

○町長（長嶋精一君） 議案第22号 平成30年度松崎町水道事業会計予算についてでございます。

詳細は担当より説明いたします。

（生活環境課長 馬場順三君 提案理由説明）

○議長（土屋清武君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

質疑を許します。

質疑はありませんか。

○5番（藤井 要君） この水道事業も人口減少というか、どんどん、どんどん厳しくなっていて、毎年毎年下がっているような状況ですけれども、今のところ何とかやり繰りしながらやっているということになるわけですが、これから本当にもっともっと少なくなるというようなことを考えた場合、値上げ等もしなければならぬ場合もあるかもしれません。

それはそれで考えていかなければならないと思いますけれども、町長、その辺は、今の現状をどう分析しているか、もしあれば、町長の考えがあれば、またお答え願いたいと思います。

そして、また、この水道事業もB&Gとまつぎき荘に依存している部分があるわけですね。

いま、29年度だいたいどのくらい2つの事業所に依存しているのか。

これはまたまつぎき荘の関係もありますけれども、水道の方として、今の現状をお願いしたいと思いますけれども・・・。

○町長（長嶋精一君） 将来のことはなかなか難しいんですけれども、極力経費等を節約しながら、値上げが極力・・・、そういうことがないように努力はしていくつもりです。

ただ、ほかの市町をみると、結構値上げをしているところが多いですね。それと、浜松市は市の管理をやめて、一般の事業所にやってもらうと・・・、運営をやってもらうという形が

進められておりますけれども、まだ松崎町はそういうつもりはございません。

極力費用を・・・、省力化を重ねながらやっていく所存でございます。以上です。

○生活環境課長（馬場順三君） 料金改定のお話が出ましたけれども、前回の改定をみてみますと、平成20年に23パーセントアップしております。

その前というのは、平成12年に23.7パーセントアップを行っております。

平成26年度の料金改定というのは、消費税の増税による分だけでありまして、実質的な料金改定となっております。

料金改定にあたりましては、将来的な設備更新計画、いわゆる投資試算をどういうふうに見るかということにかかってくるかと思えます。投資試算をするうえでは、できるだけその事業の優先順位を付けまして、また、単年度で多額の事業が集中しないように、事業の平準化による合理的な投資を求めていくということが必要でございますけれども、松崎町におきましては、平成30年度におきまして、経営戦略というのを策定する予定でございます。

この中で、給水人口減を見据えました今後の財政計画を立てていく中で、料金改定等についても検討していくということで予定しているところでございます。

それから、もう1点、B&Gとまつざき荘の割合でございますけれども、ちょっとこれは今すぐに出ませんので、後ほどまた数値については、お示しをさせていただきたいと思えます。

○5番（藤井 要君） 10年の経営戦略を立てるわけですがけれども、国の方でということをやっていると思えますけれども、これは、30年度に計画ができ上がると解釈してよろしいですかね。

○生活環境課長（馬場順三君） これは、平成29年度からアセットマネジメントというのを今やっておりますけれども、それでいろいろな施設の総あたりといいますか、どういった施設があって、耐用年数が何年とか、そういう資料を作っておりますけれども、それを受けまして、平成30年度で計画を策定するというので、30年度中にはもう計画ができあがるということでございます。

○議長（土屋清武君） ほかに質疑はありませんか。

○5番（藤井 要君） 新規加入の関係ですがけれども、先ほど8件ということで、29年度がほぼゼロかなと思うんですがけれども、8件ということは、かなり厳しい予想だと思えますけれども、そのところ・・・、営業努力というか、加入推進にあたっての方策というか、方針等がありましたら、お願いしたいと思えますけれども・・・。

○生活環境課長（馬場順三君） 平成29年度で新築等に伴います新規加入というのが約6件ございました。

○議長（土屋清武君） ほかに質疑はありませんか。

○2番（伴 高志君） 今の藤井議員の関連ですけれども、これは、34ページと35ページのところ、この一般会計からの繰入で375万8000円、経営戦略・アセットマネジメント策定業務繰入で、35ページでこれの業務委託ということで計上しているんですけれども、内容は・・・、もう少し詳細の説明をお願いしますでしょうか。

○生活環境課長（馬場順三君） この経営戦略につきましては、松崎町に限りません。全国的に人口減少に伴う水道使用量の減少とか、水道料金の収入の減少というのが予定されているところでございます。

一方で、水道施設の一斉更新時期というのが、どこも到来しておりまして、多額の投資経費の増加ということで、見込まれているところでございます。

これは、公営企業財政を管轄する総務省の方から今後10年間の投資財政計画となる経営戦略につきまして、平成33年3月までの策定というのが義務付けられたところでございます。

これを受けまして、松崎町では平成29年度においてアセットマネジメントというのを現在調査しております。

これは、現有施設の現状ですとか、更新時期、規模、そういったものを調査する内容となっておりますけれども、これを受けまして、今後30年度に経営戦略を策定しまして、例えば、年度ごとの施設の改修計画ですとか、先ほどちょっと出ましたけれども、水道料金の改定、こういったものをこの計画の中で見込んでいくという内容になっております。

○議長（土屋清武君） ほかに質疑はありませんか。

○5番（藤井 要君） 雲見の方に水源というか、水道の関係を心配しておりまして、新しい井戸を石部の方にとというようなこと・・・、今年度は計画に入っていないですけれども、31、32年度入ってくるんですけれども、今年度計画等はゼロということだと思いますけれども、なぜ、前もってある程度予算に反映できないのかなと思いますけれども・・・。

○生活環境課長（馬場順三君） ただいまのご質問でございました地下水源の確保につきましては、将来への水道事業の安定的な供給体制を確保するうえでは必要であると考えておりますけれども、具体的な事業費ですとか、若干前の議会等でもご指摘いただいた事項でございまして、いわゆる取水の可能性を・・・、総合的な検証を行って判断していくことが必要であろうということで一応計画には載っておりますけれども、今後そういったことを踏まえて、最終的な方向性を出していきたいと考えております。

○議長（土屋清武君） ほかに質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(土屋清武君) 質疑がないようですので、質疑を終結したいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(土屋清武君) 異議なしと認めます。

よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(土屋清武君) 反対討論なしと認めます。

次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(土屋清武君) 賛成討論なしと認めます。

これをもって討論を終了します。

これより議案第22号 平成30年度松崎町水道事業会計予算についての件を挙手により採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

(挙手全員)

○議長(土屋清武君) 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

午後1時まで休憩します。

(午前11時41分)

---